

△産業宣教/レムナント伝道学/全国長老連合会修練会

2 講：70 人の祝福 (使徒 1:13-15) 消えないこと (マタ 10:40-42)

・24 (祈り 24 の幸せ、力、平安)、25 (御座の祝福)、  
00 (永遠、私の運命になること)  
・24 すべきこと—みなさんは、**時代解決者**であり、**霊的司令官**として**世界を再創造**する人 (**天地開闢の所有者**)  
だ。それを 24 しなさい。

「70 人祝福」—世界再創造のシステム  
70 弟子、70 地域、70 地教会、70 産業—みなさんを通して  
70 弟子が出てきて、70 地域が掌握されて 70 地教会、70  
産業が起る。成り立たなければならないことだ。方法  
は 24 すれば良い。

・理由  
**3 団体** **ネフィリム** **霊的問題**—3 団体がネフィリム  
運動によってみな掌握して、霊的問題が続けて出てく  
る。  
**宗教団体** **マインドフルネス** **学校問題**—宗教団体が  
「マインドフルネス」という単語で人気を呼んでいる。  
これが学校に入り込んで、続けて霊的問題が出て  
きている。  
**未信者** **衣食住** **病氣**—未信者は教会には行かないの  
に、ここに (3 団体、宗教団体) は行って、衣食住しか  
分らない。これで病気になるのだ。

霊的司令官—みなさんがこの答え (70 人祝福) を受ければ、  
プラットフォーム、見張り台、アンテナをたてて、すべ  
ての地域を生かす司令官になるのだ。この祝福が来いて  
るので、祈りで 24 すれば良い。

□序論  
1. 70 人の祝福  
1) 編集 (みことば+資料)—70 人の祝福をどのように味  
わうのか、みことばと資料で編集してみなさい。  
2) 設計 (祈り)—そうすれば設計が出てくる (祈り)。  
3) デザイン (現場)—そうすれば現場が見える (デザイ  
ン)  
2. 70 弟子—そうすれば長老 1 人に 70 弟子が生じる。  
3. 70 地域—弟子を見つければ、その弟子は必ず 70 地域を  
掌握するようになる。

□本論\_器  
1. 光の経済—7 わざわい  
光の経済が来る。7 わざわい時代が来るたびにレムナ  
ントが現れる前に重職者が起きた。  
2. プラットフォーム、見張り台、アンテナ—70 人弟子、  
70 人運動の力ができるが、みなさんと事業がプラット  
フォーム、見張り台、アンテナとなる。聖書にキリス  
トが直接選ばれた 70 人弟子を通して、すべての答えの  
門がみな開かれた。  
△多くの弟子が待っているのに目が他の所に行ってい  
る。祈り 24 が別の所にある。  
3. 未来—次世代 (RT)—重職者が入って行ったところ  
1) 使 13、16、19 世の中が治せない人々をいやし  
2) 使 17、18、19 会堂  
3) 使 19:21、23:11、27:24 ローマー—この話がわかった  
重職者が世界を変えたのだ。

□結論  
**絵**—24 祈って絵を描くのだ。  
**図表**—図表が出てくるが、実際にずっと出てくる。  
**方法**—実際の巡回できる方法が出てくる。  
**弟子**—弟子が出てくる。

レムナント伝道学「消えないこと」—レムナントに知ら  
せるなければならないこと  
・序論\_御座、暗やみ、たましい—永遠のこと  
・本論\_衣食住の中から永遠なことを見つけ出すべき  
1. 永遠—神様のみことばと御座、サタンと暗やみと地  
獄、私たちの人間のたましい  
2. 世界 (世界観)—世の国、サタンの国、神の国  
3. 御座—天国の御座が私たちの背景だ。それゆえ、教  
会に献身して福音伝えることは、永遠に残る祝福で  
あり、伝道して救われた人が永遠の冠になる。  
・結論\_学業—ここに (結論) で出て来るべきで、これ (結  
論) を作品として作るのだ。

△核心/散らされた者たち/全国長老連合会修練会

3 講：タラッパンを回復しなさい (使 2:1-4) 70 地域に向けられた集中 (使 2:46-47)

24、25、00 を実際にどのようにするのか。私がこれをど  
のように伝達すれば良いのか。  
**制限された集中** **選択された集中** **Oneness 集中**—これ  
が成り立てば、そのときから 24、25、00 になる。  
**時代解決者、世界再創造、時代治療者**—この三つに集中し  
なければならない。  
「タラッパン回復」—それゆえ、このような結論が出て  
くる。  
△3 団体、新天地、彼らは毎日だ。24。どのように、この  
人たちを生かして止めれば良いのだろうか。

□序論\_モデル—五つのことを持ってこの三つの集中を長  
老が一人で先にしなければならない。  
1. (C)—三つの国で世界の流れを読んでこそ契約がこのよ  
うに流れていることを感じるようになる。  
2. (V)—わざわいを見る目があってこそ私の職業が 237 と  
合う答えを受けるようになる。  
3. (D)—今日を味わうのは必ず 24 になる確実なシステム  
を握ったのだ。  
4. (I)—すべての産業は神の国 (25) 成し遂げる旅程に行く  
のだ。  
5. (P)—みなさんの産業、私ひとりが 70 弟子、70 地域、  
70 の国。

□本論  
1. 制限された集中  
1) 人材、飢え渴いた、忠実、備え—この人たちを集め  
なさい。  
2) 1、3、8—集中的に入れるのだ。  
3) RUTC 5 つの理由—集まる、散らされる、いやし・  
サミットを作る、後遺症を止める、私たちがいなく  
なったとき持続する RUTC を確かに植えてあげな  
ければならない。  
**早天**—私は行く教会ごとに 40 日、10 日、1 週間集め  
て完全に制限された集中訓練メッセージをした。  
2. 選択された集中  
1) 患者  
2) 使 13、16、19—医者が見せないこの人たち  
3) 時間を定めておいて、弟子を送って、メッセージを  
送って集中した。  
**徹夜、水曜 (いやし)**—ここで正しいことすべてするこ  
とができる。特にいやしだ。

3. ワンネス集中  
1) RT、次世代、3 週、3 か月、2 年、毎週—レムナン  
ト、次世代に向かった集中だ。  
2) 使 17:1、18:4、19:8  
3) あらかじめ一出て行く前にあらかじめ植えなさい。  
裁判官が裁判官になる子どもたちを集中訓練するの  
と、牧師が単に説教することは、また違う。  
**空間活用**—重要なのは、あらかじめ植え付けること  
だ。長老の祈りと一言がとても重要だ。

□結論\_この一人にならなければならない。  
**W.I.O**—この祝福を持っているモデル  
**OURS**—これが出てくる。  
**24、25、00**—24 味わえるようになりながら神の国が臨ん  
で永遠のことを握るようになる。

散らされた弟子たち—長老が最後に関心を持って、神様が  
最も大きい結論へ推し進められること  
1. 公生涯—ここに集中させることだ。  
1) 山上垂訓  
2) 国—マタ 13 章のとえ、その鍵が神の国だ。  
3) マタ 16:16 この告白が確実でなければ主がまことの  
みことばを語れない。  
2. 最後の講壇—ここに集中させるのだ。  
1) 使 1:1 復活されたキリストを見せられたのだ。  
2) 使 1:3 神の国とそのことを 40 日説明された。  
3) 使 1:8 この力を味わいなさい。  
3. 現場—世界の弟子—のがしてはいけない。  
1) 使 2:9-11 15 か国が見えて重要な弟子が会うのだ。  
2) 使 2:41-42 現場を本当に見てしまえば、すべての祝  
福の門がみな開かれてしまう。  
3) 使 2:46-47 毎日

△今日チェックしなければならない。私はどのようにこ  
の祝福を味わうのか今しなければならぬ。

△区域メッセージ 幕屋の 7 大の祈り (いけにえ) と私の 24 (出 40:17-38)		△聖日 1 部礼拝 真の人生の天国保険 (マコ 9:2-8)	△聖日 2 部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝 終わりの時代の真の伝道と宣教 (マコ 9:14-29))
幕屋	光(庭)、家(方向)、移動(伝道、宣教)	□序論	一生のターニングポイント
7 大祈り-24		1. 本文の背景-ペテロが信仰告白した、その六日たって (2 節) イエスがペテロ、ヤコブ、ヨハネだけを変貌山に連れて行かれたが、エリヤ、モーセがともにいたのだ。すると、ペテロがエリヤ、モーセ、主のために幕屋三つを作ると言った。そのとき雲が覆って「これは、わたしの愛する子である。彼の言うことを聞きなさい」という御声が聞こえてきた。そして見ると、エリヤも、モーセも消えてキリストだけ残っていた。	答えを知る者
△イスラエルは幕屋中心に荒野 40 年を行った。この幕屋は、異邦人、旅人、子どもたちが休むことができる庭を作って 24 時、明かりをともした。信徒の家の方向は完全に幕屋側に向いている。幕屋は、移動することができるようにしたのは伝道、宣教を理解するようにする。ここで重要な祈りが出てくるが、これが「24」になれば良い。		2. 一生をおいて握らなければならないターニングポイント-私の変貌山神様は創造主で、全能なのに、貧しくて主の働きができないこと、多くの病気に捕らわれて何もできないこと、伝道運動できない無能な教会を変えなければならない。	△一生にどんな答えを受けなければならないかということ整理すれば、一週間、今日の答えを知るようになって、これを見つけて編集、設計、デザインすれば勝利する。2 部はまことの伝道、宣教のために、どの現場に行かなければならないのか、すでに答えを知る者だ。
□序論_神様は今も三つのことをしておられる。		3. キリストのために幕屋を作ること-私の人生で最も重要な天国保険	□序論
1. とともに(霊) - 「神様は霊ですから」神様は今でも 24 私たちとともにおられる。		□本論_ただキリストのために幕屋を作りなさい。人生、策定しなさい。	12 使徒、70 人
2. 答え- 24 私たちに答えておられる。		1. 絶対不可能の中にいる私を見て、神様の絶対計画を発見しなさい。	世の国
3. 救いの働き-神様は 24 救いの働きを成し遂げておられる。		△ペテロが幕屋三つを作るのは絶対不可能だ。変貌山で神様の絶対計画を見たのだ。	サタン(私中心)
□本論_幕屋を見て祈らなければならない内容だ。		1) 初めから神様の絶対計画を発見したヨセフ	神の国
1. 契約-キリスト(福音)		2) 神様の絶対計画を発見したヘブ 11 章の人物	宣教対象
契約を握った祈りだ。契約の鍵はキリストだ。私たちは礼拝するたびに、すべての場所に行くたびに、必ずキリスト(福音)についての流れを見なければならぬ。		3) ペテロが発見した三つ	1. 使徒-全世界を 12 大教区に分けた
2. 礼拝-みことば		(1) マタ 16:16 (2) マコ 9:5 (3) I ペテ 2:9	2. 重職者-70 弟子、70 の国、70 産業が成り立つ
礼拝するとき、神様のみことばを確認するのだ。契約の流れを見て、今日、神様のみことばを握るのだ。		2. 絶対無能を認めて神様の絶対答えを信じなさい。	
3. ただ一定刻祈り		1) カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間、世界福音化が残っている。	
このみことばを持って個人が祭壇を築き始めることが定刻祈りだ。		2) モーセの律法とエリヤの力ではできない。ただキリストの光の力によって可能だ。絶対答えを信じなさい。	
4. 現場- 24		3) 三つの地獄(貧しさ、病気、無能)を天国に変えるという決断(絶対計画)。私の力ではできない。神様が与えられる絶対答えで可能だ	
この祈りとみことばが現場に伝えられて行くことが「24」常時祈りだ。		3. 迫害と苦しみが多いが神様の絶対旅程について行く。	
5. 御座- 25		1) 237 が来て変化することができる神殿を作ろう。	
私たちには御座の背景がある。この御座の背景の祝福を味わうとき、私たちの力ではできないことが答えられてくるが、これが「25」だ。		2) 病気の者が来ていやされることができるシステムを作っておく教会	
6. 庭-永遠		3) 次世代を助けることができる教会システムを作りなさい。	
教会を通して、外とつながる三つの庭、すなわち異邦人の庭、祈りの庭、レムナントの庭が答えられてくるが、この祈りは永遠と関係がある。		□結論_変貌山を通過しなさい。	
7. 証人- 237		1. キリストのために幕屋を作るという契約を握りなさい。	
絶対不可能であったのに神様の力で絶対可能になる。そこで証人だ。すると、私たちの職業が 237 と関係がある。		2. すべての信徒は変貌山を通過しなさい。	
□結論		1) 神様の絶対計画を私の無能の中で発見するのだ。	
1. 絶対主権-私たちは神様の絶対主権の祝福の中にいる。		2) 神様の絶対答えを私の現実の中で信じるのだ。	
2. 絶対計画-神様は私たちに絶対計画がある。これを見なければならぬ。		3) これから行かなければならない真つ暗な道を神様の絶対旅程について行くのだ。	
3. 絶対契約-これを見れば、絶対契約が与えられるのだ。		3. 人生を策定しなさい-私の人生を神様にささげなさい。	
4. 絶対旅程-そのときから絶対旅程に行くのだ。			
5. 絶対目標-すると自然に神様が願われる絶対目標の中に行くようになっていく。			
			現場(隠れた病気)-隠れた病気になって死んでいっている現場
			門を閉ざす教会を生かしなさい-三つの庭がない教会、人、肉的、文化、伝統中心である教会、このとき起きている 3 団体(ネフィリム中心)、代替宗教(神様必要 x)
			現場(答え)-現場にある答えを見つければ、いくらでも生かすことができる
			□本論
			1. 群衆(さまよい) -ここに心がけない。
			<b>Nobody</b> -私の主張、世の中、肉的、他人の話をする人は多いが、助ける人だけいない。
			1) 14-16 節-イエスが行く所ごとに群衆が生かしてほしくて集まった。
			2) 不治の病になった。 3) 霊的問題に捕われて行く所がない。
			2. 悪霊病-どの宗教も直すことができない。
			<b>Nothing</b> -ない。伝道と宣教は Nobody、Nothing に行くことだ。相手がキリストだけに心を開くようにさせて、神様のみことばが集中して入れば働きが起こる。
			1) 医術でできない段階 2) マコ 3:13-15 ともに、伝道、悪霊を追い出す権威
			3) マコ 16:15-20 わたしの名で悪霊を追い出す
			3. 祈り
			<b>OURS</b> -ただを発見、唯一性を待つ、再創造を知って挑戦すること、これが私のこと(システム)になっていることが福音を持つ者の祈り
			1) 23 節、親-信じる者には、どんなことでもできるのです
			2) 29 節、弟子-この種のものは、祈りによらなければ、何によっても追いつけるものではありません
			3) 滅びるしかない私はいなくて、キリストが私の主人になること、キリストの力を味わって伝達すること、サタンのことを抜き取ってキリストのことが刻印されること
			△本当に宣教する人が持っている武器-神様がこれをするようにされる、ただの理由は何かを探せば簡単に見える。すると神の国の答えが来るようになる。待てば良い。
			□結論_ 237 か国、いやし、サミットをするとき
			1. 変えること-キリストに変えなければならない。
			2. 現場(いやし)-彼らが行って自分の国をいやすことができればならぬ
			3. 働き人(使命) -この多民族が行って働き人を作り出すように使命を植え付けなければならない。